

企画展・講演会「森浩一の考古学」について

若林邦彦

2014年4月12日(土)～5月25日(日)の日程で、本学今出川校地の同志社ギャラリー企画展示室で企画展「森浩一の考古学」を行った。同志社大学名誉教授森浩一氏(8月他界)の足跡を、遺跡調査の足跡を中心にたどったものである。同志社大学歴史資料館には、1967～1999年に同志社大学文学部助教授・教授職を務めた森浩一の遺跡調査による出土資料が多数収蔵されている。多数の著作やマスメディア・一般市民向け講演会などで多大な足跡を残した森浩一氏の足跡を、その遺跡調査の足跡からたどる企画であった。会期中約9,500名の来場者を得た。

【企画展の内容】

森浩一氏は早熟な考古少年として10代から多数の遺跡調査に足跡を残し、同志社大学在学中から自由に研究調査活動を展開。本学教員となった後も、遺跡調査を通じて多くの考古学者を育てるとともに、マスコミでの発言・講演会・出版などを通じて考古学を広く社会に伝え続けた。

その学問的態度は、「定説への反抗」・「地域史への共感」・「分野横断的な論及姿勢」といった言葉で形容されるが、その根幹は「遺跡」にあった。森浩一氏にとっては、遺跡から考えること、その成果について社会的立場を越えて共有することが最重要であったと考える。そのために「問題提起」という手法が、森氏にとって重要なものとなった。それらは、遺跡調査という現場が、オーソドックスな定説・常識だけで理解できず、むしろ考えるべき問題を広げていく場だという実感に根差していたものではないか。この構造は、社会の中で個人が直面する現実と社会的ルール・常識との乖離の関係にも類似する。そこに森氏が、広く受け入れられた由縁があるのではないか。また、そのような無手勝流の活動・表現を歓迎する本学の気風も、森氏の背景にあっただろう。

本企画展では、本学歴史資料館所蔵の森氏関連の遺跡出土品を主要な展示品としながら、森氏の遺跡調査の履歴を振り返った。また、調査だけでなく森氏による重要な学術業績・遺跡保存運動・学会での活動・一般市民向けの著作活動などにも焦点をおいた。

展示品は、表1に掲載したとおりである。

【講演会の開催】

また、5月11日(日)には、本学明德館にて講演会を開催した。森浩一氏から本学で指導をうけた寺沢知子氏(神戸女子大学教授)から「森先生と園部垣内古墳の発掘」、長く調査活動を森氏とともに行ってこられた宮川彦氏(奈良県立橿原考古学研究所共同研究員)から「森浩一の考古学－遺跡保存をめぐる実践と理念－」、報道などを通じ森氏と親交のあった天野幸弘氏(元朝日新聞社編集委員)から「森浩一とマスメディア」の3つの講演をいただき、討論を行った。

当日は約200名の参加者を得ることができ、盛況のうちに終えることができた。会場には、森浩一氏の妻である森淑子同志社女子大学名誉教授も来場され、講演会の最後にご挨拶をいただいた。

また、寺沢氏・宮川氏・天野氏の講演内容は、本書後節に掲載した。これは、当日の講演の口述内容に3人の講演者が加筆修正して作成したものである。

表1 ハリス理化学館同志社ギャラリー企画展「森浩一の考古学」展示品一覧

考古少年から同志社学生へ	土塔(堺市)出土文字瓦	同志社大学歴史資料館所蔵	遺跡保存活動・いたすけ古墳をめぐって	いたすけ古墳(堺市)出土の衝角付埴輪(複製品)	堺市立博物館所蔵
	高月2号墳(堺市)出土銅鏡	同志社大学歴史資料館所蔵		いたすけ古墳保存運動のチラシ・新聞報道	宮川徳氏所蔵
	四ツ池遺跡(堺市)出土遺物	同志社大学歴史資料館所蔵		いたすけ古墳工事架橋時の写真	宮川徳氏所蔵
	黄金山遺跡(堺市)出土弥生土器棺	同志社大学歴史資料館所蔵		現在のいたすけ古墳	宮川徳氏所蔵
	発掘調査報告書『河内黒姫山古墳の研究』	同志社大学歴史資料館所蔵		いたすけ古墳出土の現状切り絵(加藤義明氏原画)	宮川徳氏所蔵
	黒姫山古墳(堺市)出土短甲・冑	堺市立みはら歴史博物館		森浩一の著作(自薦)	同志社大学歴史資料館・考古学研究室所蔵
共有の序章・泉大津高校教員として	『和泉考古学』第1集(1954年刊行)	同志社大学考古学研究室所蔵	書いてきたもの	『敗者の考古学』	同志社大学歴史資料館所蔵
	池上曽根遺跡(和泉市)出土土器・石器	大阪府立泉大津高等学校所蔵	古代学研究会の成り立ち	『土』1・2号	同志社大学歴史資料館所蔵
若狭湾と紀伊半島の製塩土器群	同志社大学歴史資料館所蔵	『古代学研究』6号		同志社大学歴史資料館所蔵	
北牧野A遺跡(高島市)の製鉄炉・鉄滓・土器	同志社大学歴史資料館所蔵	古代学研究会編集関係書類・メモ		同志社大学歴史資料館所蔵	
学生と共に・同志社大学での学術調査	井辺八幡山古墳(和歌山市)出土須恵器・埴輪	同志社大学歴史資料館保管	対馬へ・森浩一の旅	津島紀事 全八冊	同志社大学歴史資料館所蔵
	観音寺山遺跡(和泉市)出土弥生土器・石器	同志社大学歴史資料館所蔵		するめ	個人蔵
開発とはさまざま・変わりゆく大学考古学者の立場	姥柳町遺跡・南蛮寺(京都市)出土 硯・土器	同志社大学歴史資料館所蔵		せん(「ろくべえ」のもと)	同志社大学歴史資料館所蔵
	同志社大学図書館地点出土焼塩壺・銭貨	同志社大学歴史資料館所蔵	かすまき(サンプル)	同志社大学歴史資料館所蔵	
	見野山窯(堺市)出土須恵器	同志社大学歴史資料館所蔵	森浩一と考古学研究室(「京都の中の同志社」展示室)	「生涯不熟」額	同志社大学歴史資料館所蔵
須恵器の編年	梶ヶ坂窯(大阪狭山市)出土須恵器	同志社大学歴史資料館所蔵	森浩一・考古学研究室関係書類	同志社大学歴史資料館所蔵	
	濁り池窯址(和泉市)出土須恵器	同志社大学歴史資料館所蔵			
	和泉黄金塚古墳出土(和泉市)景初三年銘鏡複製品	大阪府立弥生文化博物館所蔵			
三角縁神獸鏡をめぐって	和泉黄金塚古墳(和泉市)出土粘土槌片	同志社大学歴史資料館所蔵			
	園部垣内古墳(南丹市)出土三角縁神獸鏡複製品・木棺片	同志社大学歴史資料館所蔵			
	『古代学研究』上での三角縁神獸鏡論	同志社大学歴史資料館所蔵			
	西山2号墳(城陽市)の三角縁神獸鏡・四獣鏡・石釧	同志社大学歴史資料館所蔵			
	授業時の天皇陵古墳名検討資料	今尾文昭氏所蔵			
天皇陵問題	城ノ山古墳(堺市)埋葬施設実測図(森氏原図)写真	現品は森淑子氏所蔵・写真は同志社大学歴史資料館所蔵			
	城ノ山古墳(堺市)出土鉄鎌・鉄鉾	同志社大学歴史資料館所蔵			
	大山古墳(堺市)採集埴輪片	同志社大学歴史資料館所蔵			
	百舌鳥大塚山古墳(堺市)出土土製品(複製品)	同志社大学歴史資料館所蔵			

【企画展・講演会の様子】

